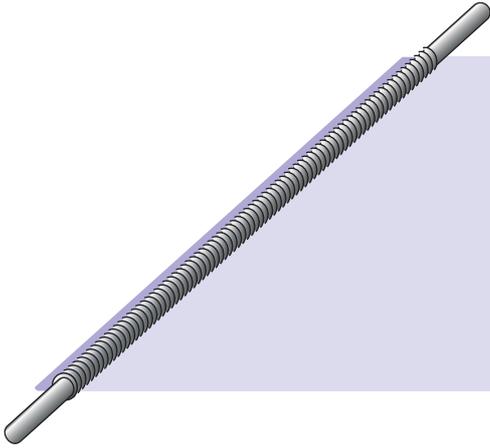


ワイヤーバーについて



1. ワイヤーバーとは
2. ワイヤーバーの特徴
3. 膜圧とワイヤー径
4. 使用可能な基材

1. ワイヤーバーとは

ワイヤーバーはワイヤー径を変更するだけで塗工を行なう際の膜圧の条件を任意に決める事が出来る塗工治具です。これまで生産時の塗工条件（膜圧、スリット幅、塗工速度等）を決めるまでに膨大な時間が発生し、長い時には一年の月日を要していました。しかしワイヤーバーは膜圧がワイヤー径で決められそのまま生産時に反映できる為これまで条件出しに費やしてきた日数が省かれたり少なくなります。

またワイヤーバーは根詰りやワイヤーの摩擦による消耗等が御座いますので消耗品扱いとお考えください。

2. ワイヤーバーの特徴

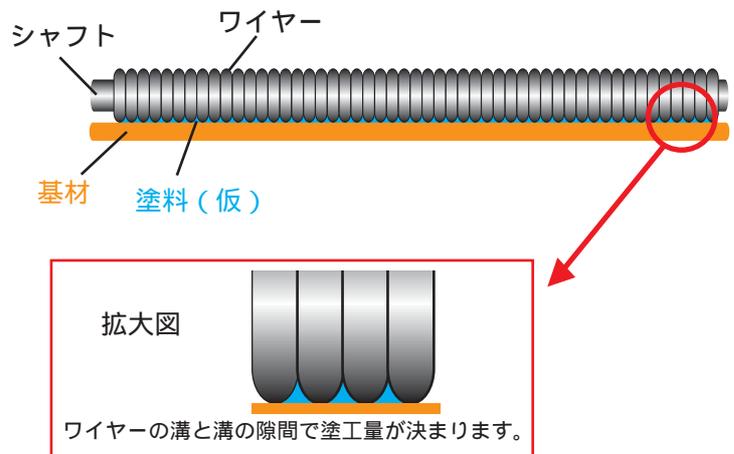
- ・ワイヤーバーはワイヤー径とシャフト径が定められている為、同じバー No. を使えば誰でも同じ条件で塗工が出来ます。
- ・ワイヤーバーは塗工分野で幅広く使われ生産機にも取り付けられる塗工治具です。
- ・ワイヤーバーの洗浄は水洗いまたは溶剤で丸洗いする事が出来ます。

3. 膜圧とワイヤー径

ワイヤーバーはワイヤー径とシャフト径から膜圧が決まります。

右図のようにワイヤーとワイヤーの隙間から塗工量が決まり膜圧が決まります。

この方法がワイヤーバーの全てとも言えます。



4. 使用可能な基材

ワイヤーバーは金属の塗工治具です。基材が繊細な物には傷が付いていしまう事が有ります。そのような基材の場合はご使用をお控えください。

使用機材例：紙・ガラス・フィルム・金属・機能性材料等